

# お知らせ

## ◆「周作忌」中止のご報告

毎年9月29日の命日に行なつて来た「周作忌」は今年で第24回を迎えますが、昨今の新型コロナウイルスによつてもたらされた状況により、残念ながら中止となりました。次年度の開催にはぜひともご参加くださいますようお願い申し上げます。

なお、毎年同じ日に、同じ会場で行われていた「周作クラブ総会」は、今年も別の場所へ規模を縮小して行ないます。8月末に発行の会報(事情により、通常の形ではなくお知らせのプリントになります)に、委任状を含めたご案内のハガキを同封いたします。

## ◆決定延期

第21回 遠藤文学原点の旅  
「エリアとよぶ女」「怪奇小説」の舞台—駿府・網代・熱海をバスで

当初、5月に予定されていた今年の「原点の旅」の延期(10月18日~19日)については、すでに参加の方々へはご連絡しましたが、このところの状況から未だ実現の見込みが立たず、遅くとも7月下旬には最終判断をする予定です。その折は直接にお手紙さしあげますので、もう少しお待ちくださるようお願いいたします。

## ◆遠藤周作未発表小説、発見

純文学作品「影に対して」

「三田文学」夏季号(7月10日刊)

定価909円+税  
あらたに見つかった400字詰原稿

用紙104枚の純文学作品「影に対して」(本誌1面に詳細記事)の全文を緊急掲載。「解説」を加藤宗哉、「経緯」を長崎市遠藤周作文学館学芸員・川崎友理子が担当。なお、「三田文学」の次号(秋号・10月10日発行)では、さらに詳細な「解説」を山根道公・本報顧問が執筆を予定している。

※「三田文学」予約申込は、三田文学編集部(☎03・3451・9053、☎03・3451・9057)まで。  
「三田文学ホームページ」からも申し込みます。また、大手書店でも販売します。

## ◆御礼・周作クラブ「協力金」へ多くのご好意

周作クラブの財政上の問題から、さきに皆さまへお願いした「協力金」に多くの方から御寄附がありました。心より御礼申し上げます。今年度の決済における「繰越金」にも相応の金額が確保される見通しが立ったことから、今年の会費値上げは見送り、来年度総会であらためて議題としてとりあげることにしました。会員各位のご厚意・ご協力を深く感謝申し上げます。

なお、さきに「協力金」の振込用紙を全員に同封したため、会費未納と勘違いし、翌年分の年会費まで振込まれた方が多くおられました。8月にはまた、皆様へ振込用紙が届きますが、それは「協力金」お願いのためで、すでに年会費を御取めの方は、重ねて年会費をお支払いになりませぬよう、ご注意ください。なおその際、ご自身の年会費納入状況については、下記Eメールアドレスか、往復ハガキにてお問合せください。

## ◆遠藤周作学会全国大会中止について

9月12日に予定されていた第15回遠藤周作学会・全国大会(2020年度会場校・南山大学)は中止と決まりました。今後予測される感染の状況、会場校である大学の状況に見通しが立たないこと、また発表者が背負う不安や未確定要素等が勘案された結果、このことです。

## ◆「会報」の原稿募集

会員の皆さんの原稿を募集します。900字(半ページ分)あるいは1800字(1ページ分)。遠藤周作の人と作品について、あるいは遠藤文学との関わりなど何でも結構です。なお、原稿は必ず下記「周作クラブ」宛てに郵送してください。掲載の際にはご連絡差し上げます。

## ◆「周作クラブ」会員募集

「周作クラブ」では会員を募集しています。遠藤文学ファンはもちろん、これから読んでみようという方々も大歓迎です。年会費は3,000円。入会金はありません。年4回発行の「会報」が送られるほか、会が主催する「文学セミナー」や遠藤作品の足跡を訪ねる「遠藤文学・原点の旅」へ参加できます。新年会、各種懇親会へのご案内もお送りします。下記「周作クラブ」まで、ハガキかEメールでお申込みください。折り返しご案内の資料と会費の振込用紙をお送りします。なお、当クラブでは前々号より、財政健全化のための「協力金」をお願いしています。一口1,000円で、何口でも結構です。

## ◆編集後記◆

▼気象庁が梅雨入り宣言をしたら、何日か晴天が続いています。とはいえ、この会報が届くころには、梅雨の盛りでしょう。雨といえは遠藤先生が「晴れ男」を自認しておられたのを思い出します。確かに、先生との取材や旅行などで雨にたたられた思い出は、ほとんどありません。▼以前にも、遠藤先生の未発表作品が発見され、ニュースになったことがありましたが、今回もビックリです。「影に対して」と題された百四枚の原稿を全部読ませてもらいました。主人公は「勝呂」、彼と彼の父親と、その周辺の人々を描いた物語ですが、遠藤先生の若き日の思いを彷彿とさせます。

▼コロナウィルスは、世界中で猛威をふるっていますが、日本でも様々なイベントが中止なったりし、大変な状況です。遠藤先生のご命日である九月二十九日の「周作忌」も残念ながら中止せざるを得ません。また「遠藤文学原点の旅」も、見通しが立ちません。会員の皆さんも、どうぞ健康には充分お気をつけください。(颯)

## 「周作クラブ」第79号

2020年7月発行

■発行人 加賀 乙彦

■編集人 高橋千劍破

■副編集人 亀岡 園子

■編集部 一田佳希、大原雄、近藤恭弘、高木香織、南紀洋子、清水優子

■発行所 東京都世田谷区上馬4-29-17 加藤宗哉事務所内「周作クラブ」

Eメール Shusaku\_club@yahoo.co.jp